

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 618-0071
 住 所 京都府乙訓郡大山崎町大山崎小泉1
 氏 名 マクセル株式会社
 取締役社長 中村 啓次

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

| | | | |
|---------------------|--|-------|-------------------|
| 事業者の氏名 又は名称 | マクセル株式会社 | | |
| 主たる事務所又は 事業所の所在地 | 川崎市 多摩区登戸3819 | | |
| 該当する事業者 の要 | <input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者) | | |
| 主たる事業 の業種 | 大分類 | E | 製造業 |
| | 中分類 | 32 | その他の製造業 |
| 主たる事業 の内容 | 粘着テープの開発、製造、販売 | | |
| 事業者の規模 | <input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量 | 2,748 | k l |
| | <input type="checkbox"/> 自動車の台数 | | 台 |
| | <input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量 | | t-CO ₂ |

(第2面)

| 計 画 期 間 | 2019 年度 ~ 2021 年度 |
|------------------------------------|--|
| 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針 | 別添 指針様式第1号のとおり |
| 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制 | 別添 指針様式第1号のとおり |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量 | 別添 指針様式第1号のとおり |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項 | 別添 指針様式第1号のとおり |
| 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項 | 別添 指針様式第1号のとおり |
| その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項 | 別添 指針様式第1号のとおり |
| 備 考 | <p>当社の地球温暖化対策の取組みについては、ホームページにて公表しています。</p> <p>Http://www.maxell.co.jp/csr/csr_policy/csr_guideline.html</p> |

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

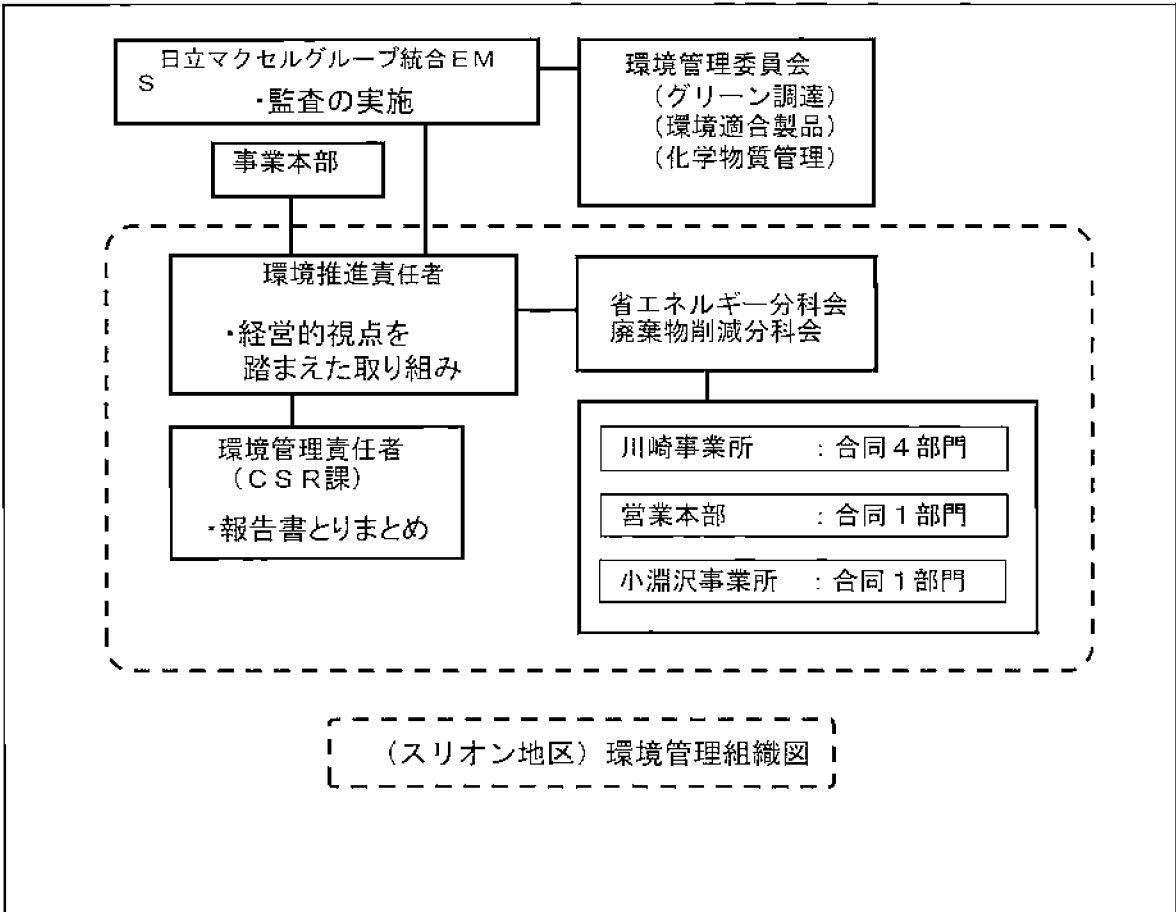
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1. 全体の基本方針
 - (1) ISO14001 (登録EC97J1148) により、地球温暖化対策に関する取組みを組織的に行い、継続的に対策を推進する。
 - (2) 目標を明確に定め、エネルギーコストと温室効果ガスの削減に取組み、環境に配慮した製品及びサービスの提供を行う。また、川崎事業所については、その事業内容及び地域社会などの環境を考慮した環境目標を定めて活動する。
2. 川崎事業所の基本方針
 - (1) 計画期間 (3 年以内) に事業活動地球温暖化対策指針にある基本及び目標対策項目を積極的に実施する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理 (PDCA サイクル) を行うための方針

- ①川崎事業所の排出削減計画に基づき、省エネ及び排出量削減の目標設定を行い、年度計画を策定する。具体的な実施項目を四半期ごとに目標進捗管理表にまとめ、委員会で確認・共有する。
 - ②年度計画の実施項目の進捗管理とエネルギー使用量及び排出量の実績管理を行い、予算管理も含めて運転・設備保全上での省エネ課題を整理し、年度計画の見直しを行う。
 - ③委員会で省エネ及び排出量削減効果の検証を行い、その影響評価を行う。また、その評価により実施項目のGO/STOP判断を行う。
- 以上の基本方針によりPDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

| | | 1、2、4号該当者等 | | 3号該当者等 | | |
|-----------|------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基 準 年 度 | | 2018 | | | | 年度 |
| 目 標 年 度 | | 2021 | | | | 年度 |
| 基 準 排 出 量 | (実) | 5,260 | | (実) | | |
| | (調) | 5,207 | t-CO ₂ | (調) | t-CO ₂ | |
| 目 標 排 出 量 | (実) | 5,418 | | (実) | | |
| | (調) | 5,413 | t-CO ₂ | (調) | t-CO ₂ | |
| 削 減 量 | (実) | -158 | t-CO ₂ | (実) | t-CO ₂ | |
| 内 訳 | 対策実施による削減量 | (実) | 40 | t-CO ₂ | (実) | t-CO ₂ |
| | 上記以外の削減量 | (実) | -198 | t-CO ₂ | (実) | t-CO ₂ |
| 削 減 率 | (実) | -3.0 | % | (実) | % | |

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

| | | 1、2、4号該当者等 | | 3号該当者等 | |
|-----------------|--|------------------------------------|--|--------|--|
| 原 単 位 等 の 活 動 量 | | 生産数量 | | | |
| 原 単 位 の 単 位 | | t-CO ₂ /千m ² | | | |
| 基 準 年 度 の 値 | | 0.3077 | | | |
| 目 標 年 度 の 値 | | 0.3170 | | | |
| 削 減 率 | | -3.0 % | | | |

ウ 目標設定に関する説明

製造工程における歩留向上、作業効率向上の実施、及び室内温度管理等によりCO₂削減に寄与するが、計画期間の3年間に川崎事業所における生産数量がほぼ横ばいの見込みである。また、気温上昇の対応、及び検査棟改築による空調機器増設を行う。このため2021年までのCO₂排出量計画は増加し、生産数量に対するCO₂排出量原単位は基準年度の値の3%増加する目標設定とした。
CO₂削減施策として、省エネ型の変電設備（高圧ケーブル）、及び生産設備（コンプレッサー）への更新、等を計画する。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

全社的には、温室効果ガス排出量を2021年に2013年度比で18%削減することを目標としている。
・2021年の全社温室効果ガス排出量：53019 t-CO₂

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

| | |
|--------------------------------|--|
| 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> ○川崎事業所全体を含めた(省エネ)に関するeラーニング教育を実施する。 ○A棟建屋の空調設備更新、及び建屋のシャッター扉の2重扉化改造を実施する。 ○A棟建屋の屋根に遮熱塗装を施し、建屋内の断熱強化を図る。 ○生産工程の歩留まり向上、及び作業効率向上。 ○変電設備の高圧ケーブル更新、及び生産設備のコンプレッサー更新。 ○全棟、照明設備の更新時には、LED照明の導入を推進する。 |
| 第1年度 | / |
| 第2年度 | / |
| 第3年度 | / |
| 計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載) | / |

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○川崎事業所の古い空調設備(R22)を代替フロン機器に更新した。 ○川崎事業所の第1変電設備の変圧器を更新した。 ○川崎事業所の工場内の照明設備の7割までLED照明を導入した。 |
|--|

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

| 再生可能エネルギー源等の種類 | 検討の有無 | 検討結果 |
|----------------|-------|---|
| 太陽光 | ○ | 川崎事業所では、余剰電力の逆潮流の問題もあり、費用対効果が乏しいため導入は困難である。 |
| 風力 | ○ | 川崎事業所の敷地条件や気候条件などから検討対象外とした。 |
| バイオマス | ○ | 川崎事業所の小型焼却炉にて、構内の枯葉等植物由来の廃棄物を焼却処理し排熱利用している。 |
| 未利用エネルギー | ○ | 川崎事業所では、未利用エネルギーはない。 |
| その他() | | |
| その他() | | |

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

| 種類 | 概要(規模、場所など) | 導入(保有)年度 |
|-------|-----------------------------|----------|
| バイオマス | 小型焼却炉；処理量2.4t/年、発熱量37.4GJ/年 | 1988年設置 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

| 設備等の種類 | 導入等の状況 | 設備等の種類 | 導入等の状況 |
|-------------------|--------|-------------------------|--------|
| 電気自動車等への充電設備 | × | エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等) | × |
| 電気自動車等から建物等への給電設備 | × | その他() | |
| EV、PHV、FCV | × | その他() | |

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

| | |
|------|---|
| 計 画 | JR貨物によるモーダルシフトの実施 横浜起点の福岡向け鉄道輸送を実施した。(年間約8t-CO2削減) |
| 第1年度 | |
| 第2年度 | |
| 第3年度 | |

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

| | |
|------|---|
| 計 画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グリーン購入の調達推進を行う。 2. 川崎事業所の全営業車のハイブリッド車運用を継続する。 3. 廃棄物の減量化、分別化の推進を図る。 4. 本館東側花壇(憩いの庭)の管理を継続する。 5. 夏場における製品倉庫の屋根への散水実施。 |
| 第1年度 | |
| 第2年度 | |
| 第3年度 | |

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

| | | |
|-----|-------|-------------------|
| (実) | 5,260 | t-CO ₂ |
| (調) | - | |

イ 原油換算エネルギー使用量

| | |
|-------|-----|
| 2,748 | K L |
|-------|-----|

ウ 事業所の数

| |
|---|
| 1 |
|---|

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | エネルギー起源CO ₂ の排出量 |
|-------------------|--------------|-----------------------------|
| スリオンテック事業本部 川崎事業所 | 川崎市多摩区登戸3819 | 5,260 t-CO ₂ |
| | | t-CO ₂ |
| | | t-CO ₂ |
| | | t-CO ₂ |

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | エネルギー起源CO ₂ の排出量 |
|--------|---------|-----------------------------|
| | | t-CO ₂ |
| | | t-CO ₂ |
| | | t-CO ₂ |
| | | t-CO ₂ |